

【イベント案内】

環境省 箱根ビジターセンター

- 夏休み活動
 - 開催期間：7月27日(日)～8月24日(日)
 - 内容：①早朝観察会 6:00から約1時間かけて箱根ビジターセンター周辺を散策します。
 - ②大涌谷観察会 10:00から2時間かけて大涌谷までの自然観察をします。
 - ③クラフト教室 10:00～14:30まで箱根ビジターセンター多目的ホールでクラフトをつくります。

- 箱根地域自然に親しむ運動
 - 「自然と遊ぼう！ネイチャーゲームで箱根を満喫」
 - 日時：8月2日(土) 10:00～14:00予定
 - 内容：芦ノ湖畔で動植物を観察。ミニゲームにも挑戦！
 - 集合解散：箱根VC
 - 費用：保険代100円
 - 応募締切：7月23日(必着) 親子おすすめ！

- 箱根地域自然に親しむ運動
 - 「箱根の小さな妖精 昆虫たちと遊ぼう！」
 - 日時：8月8日(金) 10:00～16:30予定
 - 内容：箱根VC周辺で昆虫たちと戯れます。
 - 集合解散：箱根VC
 - 費用：保険代100円
 - 応募締切：7月29日(必着)
 - 対象：小学生までの子供(保護者も可)

箱根地域自然に親しむ運動応募方法
 行事名、参加希望者全員の住所・氏名・年齢・性別・電話番号を記載し、往復葉書またはメールで下記まで。
 〒250-0522 足柄下郡元箱根旧札場164
 箱根ビジターセンター 電話 0460-84-9981
 メール：hakone-vc@kanagawa. email. ne. jp

県立丹沢湖ビジターセンター

- 「ガイドウォーク」
 - 内容：旬の自然を観察しながら丹沢湖周辺をのんびり散策します。ボランティアスタッフ「むしくさの会」の方が案内・解説を行います。
 - 日時：①7月13日(日)
 - ②8月10日(日) 10:00～12:00 (毎月第2日曜日) (毎月第2日曜日)
 - 参加費：無料
 - 事前申込：不要
 - 集合：開始時間までに丹沢湖ビジターセンター玄関前にお集まりください。
 - ※10名以上の場合はお問い合わせください。

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

- 自然教室「宮ヶ瀬の青い石 セラドン探検隊」
 - 日時：7月26日(土) 10:00～14:00頃
 - 集合解散：宮ヶ瀬ビジターセンター
 - 対象：小学生と保護者30名 ※応募者多数の場合は抽選
 - 参加費：1000円(材料代込み)
 - 締切り：7月7日(月)
 - 申込み：宮ヶ瀬ビジターセンターまでお問合せください。

県立秦野ビジターセンター

- 企画展「虫のおもしろ大発見！」
 - 内容：虫たちが作る芸術品、虫たちの面白さや不思議を発見しよう！
 - 期間：7月19日(土)～9月28日(日)
 - 場所：秦野ビジターセンター 展示室
 - 申込み：不要 開館中はいつでもご覧いただけます。
 - ※入館無料
 - 開館時間：9:00～16:30
 - 期間中の休館日：月曜日(祝日開館)、祝日の翌日(土日開館) 7月22日、9月16日、9月24日

自然公園へ出かけよう



休館日のお知らせ
 県立ビジターセンター：月曜日(祝日開館)、祝日翌日(土日開館)
 1～3月第2木曜日(祝日開館)
 年末年始(12/29～1/3)
 箱根ビジターセンター：6月第2水曜日とその翌日、年末年始(12/28～1/1)

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

〒243-0111 清川村宮ヶ瀬940-15
 Tel046-288-1373 Fax046-288-1162
 開館時間 9:00～16:30
 (1/4～2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/miyagase/>

県立丹沢湖ビジターセンター

〒258-0202 足柄上郡山北町玄倉515
 Tel0465-78-3888 Fax0465-78-3777
 開館時間 9:00～16:30
 (1/4～2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzakowc/>

県立秦野ビジターセンター

〒259-1304 秦野市堀山下1513
 Tel0463-87-9300 Fax0463-87-9311
 開館時間 9:00～16:30(通年)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanovc/>

県立西丹沢自然教室

〒258-0201 足柄上郡山北町中川1867-2-9
 Tel0465-78-3940 Fax0465-78-3940
 開館時間 8:30～16:30
 (12/1～3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/nishitanzawa/>

県立陣馬自然公園センター

〒229-0201 相模原市緑区佐野川1659-3
 Tel0426-87-5270 Fax0426-87-5270
 開館時間 9:00～16:30
 (12/1～3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/jinba-vc/>

環境省箱根ビジターセンター

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根旧札場164
 Tel0460-84-9981
 開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
<http://www.mm.jp.or.jp/HakoneVisitorCenter/>

編集・発行：公益財団法人 神奈川県公園協会 〒231-0027 横浜市中区扇町3-8-8 関内ファーストビル6階
 TEL:045-651-0931 FAX:045-651-0932
 公園課(自然公園担当):sizenkouen@kanagawa-park.or.jp ホームページ <http://www.kanagawa-park.or.jp/>
 後援：丹沢大山自然再生委員会

2014
 7・8月号
 No.111

～自然公園から季節のたよりをお届けします～

神奈川県自然公園だより

丹沢大山国定公園 県立丹沢大山自然公園 県立陣馬相模湖自然公園 富士箱根伊豆国立公園

ちょう 蝶の舞う山

陣馬自然公園センター



サカハチチョウ(夏型)



サカハチチョウ(春型)

夏本番、活発に活動している昆虫の中でも一際目を引くのは色鮮やかなチョウでしょう。陣馬山ではキアゲハやカラスアゲハ、サカハチチョウといった様々なチョウを観る事が出来ます。

キアゲハやサカハチチョウは春に羽化するものと夏に羽化するものがあります。それぞれ模様や大きさが変わるので、私たちの目を二度楽しませてくれます。

また、キアゲハやサカハチチョウ以外にも一年間で複数回羽化し、模様や大きさ等が変化するチョウは数多く存在します。

チョウをみかけた際は、前の季節と比べてどこが変化しているのか、観察して確かめてみましょう。(千葉)



キアゲハ(夏型)



カラスアゲハ(夏型)

ビジターセンター発 自然の情報

日本で一番大きな“カ”は蜜が好き！ ～神奈川新発見！トワダオオカ～

秦野ビジターセンター

昨年5月、秦野ビジターセンターで、日本最大の力が発見されました！その名も「トワダオオカ」。発見者はお掃除のおばちゃま。時々変わった生きものがいると教えてくださるのですが、この日も、「これも力かね？」と、建物内を飛んでいたという虫をもって来てくれました。

初めて見る虫に、スタッフの柳沢が調べてみると…、日本最大の力らしいことが判明！

けれどこの力。血は吸わず、オスもメスも花の蜜を吸うとか。よく見ると、蜜を吸うためか口は大きく曲がりおしりにオレンジ色のふさふさした毛が生えていてきれいです。

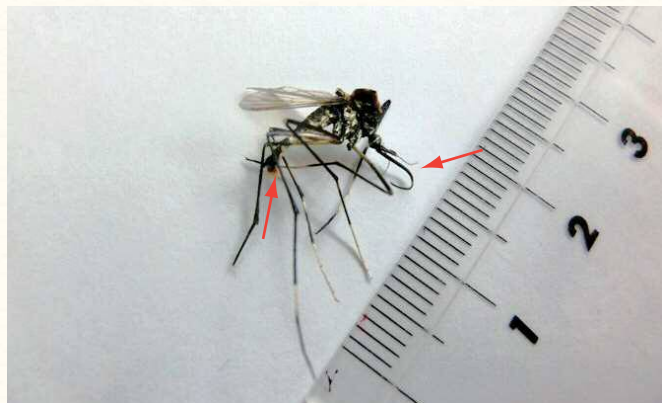
成虫も幼虫も森に暮らし、幼虫（ボウフラ）は、樹洞の水たまりなどで他の力の幼虫を襲って食べるそうです。吸血性の力のボウフラを食べてくれるなんてありがたいですね。

けれど、神奈川県でどんなところにいるのかと、「神奈川県昆虫誌」という詳しい本で確認しましたが見当たりません。神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館員 高

桑正敏氏に伺うと、専門家(地域環境計画 伊東憲正氏)に写真鑑定を依頼してくださり、「トワダオオカ」でまちがいないこと、神奈川県初記録であることがわかりました！

偶然発見された虫でしたが、こんなふうには身近なところにいる虫たちの中に、見過ごされ記録されていないものがあるのかもしれない。

みなさんも、身近な生きものをよ～く観察してみたら大発見が待っているかもしれませんね。(長縄)



トワダオオカ

枯れ木の上で運動会！ 色とりどりのカミキリムシ

箱根ビジターセンター

箱根の山をハイキングをしていると、森の中で多くの枯れた木々の姿を見ることができます。枯れて間もない木、今にも倒れそうな木、地表でグズグズに朽ちた木…。それらの木々は昆虫や菌類によって分解されていきます。そんな分解者の一つであるカミキリムシの紹介。



ちょっと地味なウスイロトラカミキリ



日本を代表する美麗種ルリボシカミキリ



夏、個体数の多いキイロトラカミキリ

「カミキリムシ」と聞くと、黒地に白い点々がありミカンなどの生木を食べる体の大きなゴマダラカミキリを想像する人が多いと思います。しかし実際生木を食べる種類はごく一部、枯れ木を食べる種類がほとんどです。

体の大きさは1～2センチほどの種類が多く、色彩は色とりどり。種類によって幼虫の食べる樹種が違うので、木材を集材している木材置き場などは多くの種

類のカミキリムシと出会う格好の観察場所となります。

先日訪れた木材置き場にもハチに擬態したたかさんのカミキリムシで賑わい、まるで運動会をしているかのようでした。(須田)



木材置き場

本棚の滝へ涼風を求めて



本棚

暑い夏です。涼しさを求めて西丹沢へ出かけましょう。西丹沢自然教室から1時間15分(往復2時間半)のところには本棚の滝があります。落差が大きく、上から落ちる水は涼風を巻き起こしています。風だけでも暑さを忘れませんが、濡れを気にせず、水しぶきを浴びるのもこの季節ならではの心地よさです。

まずは、西丹沢自然教室でルートを確認したうえで、

西丹沢自然教室

吊り橋を渡り、川沿いに登ります。流れの音を耳にしながら、濡れた岩や木の橋で滑らぬよう注意して下さい。60分ほど歩くと、左へ分岐する道標に「本棚」の文字が出てきます。左折すると間もなく本棚の滝です。岩壁に目を向けると、紫色の花が印象的なケイワタバコに出会えるかも知れません。

なお、本棚より5分ほど手前を左へ行く下棚の滝もあります。お時間があれば、こちらへもどうぞ。

近場とは言え、山の中のハイキングです。水、帽子、地図、コンパス、雨具、おやつなど十分な装備をお持ちいただいて、涼しさをお楽しみ下さい。(多田)



下棚



ケイワタバコ

沢の中の青い石

丹沢にはその名の通り多くの沢が流れていますが、それぞれ地域ごとに特徴があります。

西丹沢は白い砂が広がる明るいイメージの場所が多く見られます。東丹沢を流れる早戸川の上流は大きな岩がごろごろしています。

東丹沢のうちでも特に宮ヶ瀬周辺の沢が暗い印象なのは、石の色が明るくないからかもしれません。しかし、水中の石をよく見ると、青緑色の石が混じっていることがあります。

これは、セラドン石とよばれる凝灰岩(火山灰が堆積してできた岩石)で、キラキラと輝くように見えます。明るい青緑色のものもあれば、深い青色の石もあります。水の中にあると、石は本来の色が鮮やかに見えます。

宮ヶ瀬ビジターセンター

沢沿いを歩くときには水の中の小石が気になってたまらなくなります。



セラドン石

7月の宮ヶ瀬ラボは、「ふしぎ?なぜ!丹沢のジオ」です。7月26日には「宮ヶ瀬の青い石セラドン探検隊」に出発します。詳しくはお問い合わせください。(倉持)

※ジオ…「地球」の意味。地質や地学などの意味でも使われます。

ヤマカガシとの付き合い方

「池でこんなヘビを見ました!なんというヘビですか?」丹沢湖ビジターセンターにあるため池でモリアオガエル等の卵やオタマジャクシを観察されていたお客様から、こんなことを聞かれました。



オタマジャクシを狙って水に入るヤマカガシ

話をうかがうと、オレンジや黄色の模様があったそうです。丹沢に生息するヘビの中で、そのような派手な見た目といったらヤマカガシです。オタマジャクシを狙ってやってきたのかもしれませんが。

水辺でよく見られるヤマカガシですが、2種類の毒を持っているため安易に触ってはいけません。ひとつは、

丹沢湖ビジターセンター

噛まれたときに奥歯から注入されるものです。もうひとつは、首の辺りは衝撃を受けると黄色の毒液が飛び散るようになっています。叩いたりすることも危険です。



水辺のヤマカガシ

そんな毒を持つヤマカガシですが、実は目が丸くて可愛らしいヘビです。距離を置いて観察することで色々な姿を見せてくれます。丹沢湖ビジターセンターでは、屋内からため池を観察できるように望遠鏡を置いています。

ぜひ、彼らの自然な姿を覗いてみませんか?(池上)



観察してみよう!